

2020 年度

# 認定こども園の自己評価表

## 幼保連携型認定こども園

**【評価対象期間】**

2020年4月1日から2021年3月31日

**【評価責任者】**

吉野川市鴨島町鴨島乙897-9  
鴨島中央認定こども園

園長 多田 和子

## こども園における自己評価の結果

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する
D: 改善を要する

### 項目

#### ◎ 保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				<p>本年度から、幼保連携型認定こども園となり「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「キリスト教保育指針」に基づき、1歳児から5歳児の幼児一人ひとりの発達段階を踏まえた教育・保育を、連続的・一体的に取り組んでいる。教職員は、子どもの心に寄り添い一人ひとりが愛されていると感じられるように教育・保育に携わっている。</p> <p>「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」についての理解を深め、自己研鑽に務めている。また、研修会にも積極的に参加している。</p> <p>保護者には、入園説明会や園だよりなどを通して園の方針・目標を伝えている。</p>
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を活かしているか。		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を活かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育・教育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				<p>全体的な計画、年間指導計画を基本とし、毎月の反省考察を教職員で共有している。問題提起などをして取り組み翌月の指導計画の立案にも活かしている。</p> <p>子ども一人ひとりの育ちを見据えて、子どもの実態に即したねらいや内容が経験できるような環境構成を考え保育に取り組んでいる。また、季節が感じられる環境構成を工夫して行っている。</p> <p>保護者アンケートなどから今年度の課題を検討し全職員が共通理解をもって次年度に取り組んでいきたい。</p>
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○			<p>年齢による発達に即したプログラムで教育・保育を進めている。園児の興味関心を大切にしながら、必要に応じて柔軟に対応している。</p>
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			<p>年度当初に行事の担当を決め職員会で話し合い計画を立てている。今年度は、感染防止対策をしながらも工夫して取り組んだ。行事が終わった後には、反省点や課題を検討し次回に繋げるようにしている。</p> <p>保護者参加の行事は、役員会で意見を聞くなどして縮小するところは、保護者に理解して頂き行った。</p>
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分活かしているか。		○			
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経 営 組 織	分 享 ・ 体 制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				シフト勤務のため、報告・相談・連絡が滞らないように職員間の連携を密にするように心掛けている。 日々の職員配置を全職員が、把握できるように所定の場所に掲示し必要に応じて臨機応変に対応し保育を行っている。 仕事の役割分担は、年度当初に職員で話し合い決めている。
		(2) 職員の配置は適材・適所か。	○				
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				毎月、行事計画・保育振り返りを行っている。会議内容は記録し、会に出席している職員が、出席出来なかった職員に周知している。 園内研修も定期的に行い職員が課題に対して建設的意見が出せる雰囲気心掛けています。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	(1) 年齢・クラス別目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				教育・保育の全体的な計画に基づき、各年齢やクラス別に指導計画・週案の作成をしている。目標や援助を設定し取り組んでいる。 同年齢及び異年齢児間において、常に連携を取り合って教育・保育を行っている。 月一回の保育振り返りから教育・保育の内容の見直し、改善に努めている。職員会議や園内研修で園児の育ちを職員間で情報共有し教職員全体で子どもの育ちを支えるようにしている。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(4) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○			
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に活かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			子どもたちの日々の健康管理は、園と保護者が密に連絡をとり対応している。 年間の避難訓練を計画し、それに基づいて地震・火災を想定し月に一度実施している。年二回消防署に通報訓練、年一回消防署の方に来てもらい訓練の指導をしていただいている。保護者や園児に駐車場や横断歩道の安全確認・通行の仕方等の指導をしている。今年度は、コロナ感染症対策についても文書やメールでこまめに発信し、健康や安全についての啓発を行っている。
(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○					
(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○					
つ 情 報 通 信	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				守秘義務とプライバシー保護を全職員に周知している。個人情報が含まれる書類等の取り扱いについては、十分な配慮をし鍵を掛けて保管している。職員会議のミーティングで様々な情報交換を行っているが、守秘義務を守るようにしている。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
施 設 ・ 設 備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				業者による防災・エレベーター・害虫駆除の点検を行っている。園庭の遊具・各クラスの用具などは、毎日点検している。年2回施設内外の安全点検を行っている。 不審者対応として防犯カメラを設置してモニター画面を職員室で管理している。玄関出入り口の自動ドア・通用出入口も時間で開閉の管理をしている。 掲示板は、玄関ホールに設置して情報発信している。学年ごとの連絡事項などは、ホワイトボードを活用し掲示している。	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出 納 経 理	(1) 保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				保護者会監事に監査を受けて適正に処理している。	

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれたこども園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		地域交流では、例年行っている保育園・認定こども園・小学校・中学校・高校・老人会などの交流が出来なかった。他校の児童・生徒とのふれあいがなかったことは残念であった。就学に向けて、入学予定の小学校と連絡を取り合い、円滑な移行ができるよう努めた。小学校の先生と情報交換をし連携を図るようにした。
		(2) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。			○		
		(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。			○		
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		参観時間を制限しない参観日は、設定していない。保護者には、三密を避けるために時間差にして参観をしてもらった。保護者以外の人を対象とした参観については安全対策等の観点から課題があり、実践できていない。5歳児は、月2回児童館に絵画教室に通っている。今後、地域の行事や地域の文化に積極的に参加できるように検討していきたい。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				子育て支援事業(なかよしくらぶ)で、園庭開放を毎週月曜日に予定していたが、新型コロナウイルスの影響で来園者が殆どなかった。一時預かり事業では、地域の方に利用してもらえた。毎年、保護者研修会を実施して「子育てについて」の研修を行っているが今年度は、実施出来なかった。園児の発達や個別の支援方法について市の保健師と専門機関の職員による巡回訪問を年2回実施し、指導を受けている。専門的な意見を参考にしながら指導している。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。			○		
	情報の発信	(1) こども園だより・ドキュメンテーション、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				園だより・学年だより・食育だよりは毎月1回、保健だよりは、年2回発行している。ドキュメンテーションは、食育・連携・自然に分けて保育の取り組みや子どものようすを保護者にわかりやすく知らせるため掲示している。感染症の発症状況を玄関掲示板・各保育室前に掲示をしている。マチコミメールでは、災害時・緊急時伝達事項の情報発信に活用している。子育て支援事業(なかよしくらぶ)の行事予定は、市の広報誌に載せている。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		第三者評価は導入していない。年1回保護者アンケートを実施し保護者の意見や要望が述べられるようにしている。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			